

豊潤の里 だより

赤崎で小地域学習会!! ~最終処分場反対~

(株)栗本ホールディングスによる産廃最終処分場建設に向けての「地権者説明会」が平成29年9月29日農産物加工センターで行われてから、2年が過ぎました。この間、赤崎地域区長会総会での反対アピール文採択に始まり、木谷自治協議会総会での処分場建設反対が決議され、各方面の専門家等を招聘した4回の学習会の実施、建設反対の署名活動、安芸津町内7か所への反対看板の設置、そして東広島市議会への「請願」提出等、木谷自治協議会は処分場建設阻止に向けて全力で取り組んできました。

ところが残念なことに地域から、「市(公的機関)が処分場をつくるんじゃろ」とか、「土地は売れたんじゃろ」「処分場はできるんじゃろ」等の声が聞こえてくる場合があります。2年目にし、地域の人々に大切な情報が届いていない現実を突きつけられました。判断や行動のよりどころとして大切なことは、正しい情報です。

そこで、小地域に分かれて今一度、「民間による産廃最終処分場」について話し合ってみることにしました。10月23日から26日の間、東赤崎(二馬手・山中・本江)、中赤崎(本谷・矢の浦)、西赤崎無(友国・新宮・木谷尻)の3地域で小地域学習会を行い、70名以上の住民の方が出席してくださいました。自治協からの情報提供(処分場の規模・危険性等)の後、地域の方々から熱心な質問や意見が出され、中身の濃い1時間半でした。

ある地域での学習会后、地域の先輩が声を掛けてくださいました。

「40年前、赤崎のもんみんなが火電(竜島火力発電所計画)に反対しようた。まだ若かったわしらも、体を張って機動隊に向かったんじゃが、蛟龍橋から取って投げられた。(今回の最終処分場の問題も)その当時の人に聞いてみたら、ええ方法があるはず。赤崎にやまとまる力がある。」

このようにして赤崎地域は心をひとつにし、「赤土のふるさと」を守ってきたことを学び勇気づけられました。この「赤崎の力」は必ず継承し広げていかなければならないと思いました。



産廃処分場建設反対活動にご協力いただきました

10月27日、「東広島市健康づくりウォーキング友の会」による“ジャガイモの花咲く丘ウォーキング”が開催され、西岡自治協副会長による歓迎の挨拶のなかで、ウォーキングコースに産業廃棄物最終処分場計画があることを説明したところ、51名から建設反対の署名をいただきました。

10/20 重松神社秋季例祭・木谷フェスティバル

木谷地域の祭り・重松神社秋季例祭とそれを応援する木谷フェスティバルが開催されました。今年は、神社での神事のあと、木谷小学校の屋内運動場で4年ぶりに神楽の本場・北広島町の「本地中組神楽団」による神楽が奉納されました。神楽の演目は「滝夜叉姫」「悪狐伝」「子持山姥」「八岐大蛇」で、多くの方が鑑賞しました。



祭りを盛り上げるのは露店。運動場にうどんやおでんなどの店が5軒、飲み物販売が1軒、木谷産の新米の販売が1軒、地域センター前では生ビール販売が1軒開かれ、食事を楽しむ家族連れなどで賑わいました。



「巫女舞」。巫女を務めるのは木谷小学校の女子児童4名。朝方の重松神社の神事での奉納に続き、屋内運動場でも厳かに巫女舞が奉納されました。



「浦安の舞」。心の平穏、世の平安を祈る典雅な神事の舞です。この舞の歌詞は昭和天皇御製となる和歌「天地(あめつち)の 神にぞ祈る 朝なぎの 海のごとくに 波たたぬ世を」です。



木谷小学校の5・6年生による「蛟龍太鼓」。太鼓による勇壮な演奏に加え、秋の祭りらしく笛による祭り囃子や、優雅な踊りも披露されました。



神楽「滝夜叉姫」の一場面。天慶の乱を引き起こし討死した平将門。その恨みを晴らそうと「滝夜叉姫」となって反乱を起こす将門の娘。それを鎮圧するために朝廷から大宅中将光圀たちが派遣され、成敗して平和が戻るという内容です。

11/2 教育講演会（講師：古本敦子さん）

「木谷の自然・歴史を子どもたちと探ってみると」



今回の講師は、木谷出身で2009年から「木谷はっけん野あそび会」を主宰する古本敦子さんです。大津市に在住の現在も、帰省など機会あるごとに子どもたちに自然の不思議さを教えています。講演の最後に「昔は『子や孫のために木を植える』ことをしていました。私達も子や孫たちに繋がる何かを残せたらいいな」と結ばれました。



【木谷はっけん野あそび会の活動】（写真左）産卵のため早春の川を遡上するシロウオを観察する「シロウオと遊ぼう」。（写真右）夏、片方の爪が特に大きなカニが婚活する様子を観察する「ハクセンシオマネキを探せ」。このほかにも夏の夜に「ウミホタルの観察」や「アカテガニの産卵の観察」を行っています。



【木谷小 ホボロ島の授業】ホボロ島に渡り、この島に消滅の危機をもたらしているナナツバコツブムシと地質の関係などの学習を支援しています。

【夏休み科学研究講座】夏休みの自由研究の指導で、2016年には「木谷杜氏」をテーマに酒造会社への訪問や元杜氏などから聞き取りをしました。

部会活動紹介

福祉生活部会



10/2 花いっぱい教育環境づくりをお手伝い
子どもたちが大切に育て、卒業式では花道にも使われるビオラとパンジー。その苗を植えるプランターの土づくりに協力しました。
＜木谷地区社協「蛟龍」＞



10/29 合同ふれあいサロン(児童と高齢者が交流)
日ごろ地域サロンに集う高齢者とケアハウス赤崎さざなみ荘の入所者の合わせて59名と木谷小児童28名がゲームや踊りで楽しく交流しました。
＜木谷地区社協「蛟龍」＞

教育文化部会



10/26 影絵劇「善松漂流記」を万葉ホールで上演
江戸時代後期、遭難した木谷の廻船問屋・元屋の稲若丸の乗員8名が救助され、ハワイや中国を経由して最後に善松一人が木谷に戻ってくる影絵劇を上演しました。約100名が視聴しました。
＜読書ボランティア「ほたる」の会＞

環境衛生部会



10/27 アダプト NET ひろしま(木谷郷川堰堤で草刈り)
初夏にはホタルが飛び交う郷川。その環境を守りながら美観も保つ取り組みに18名が参加し、川岸のほか川の中に生えた草も刈り、手入れの行き届いた川に変身しました。
＜木谷地区公衆衛生推進委員会＞

＜2020年1月までの各部会の主な活動予定＞

福祉生活部会	12月 3日(火)	木谷小持久走大会支援(豚汁の提供) <木谷地区社協「蛟龍」>
	12月 19日(木)	木谷保育所お楽しみ会 <木谷地区社協「蛟龍」>

木谷の人口(住民基本台帳)	世帯数	人口(男女計)	男	女
令和元年10月末現在	689	1556	756	800
平成30年10月末との比較	-7	-51	-22	-29